

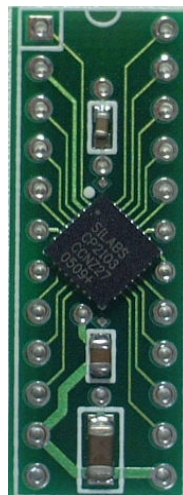


CP2103 USBシリアル変換基板

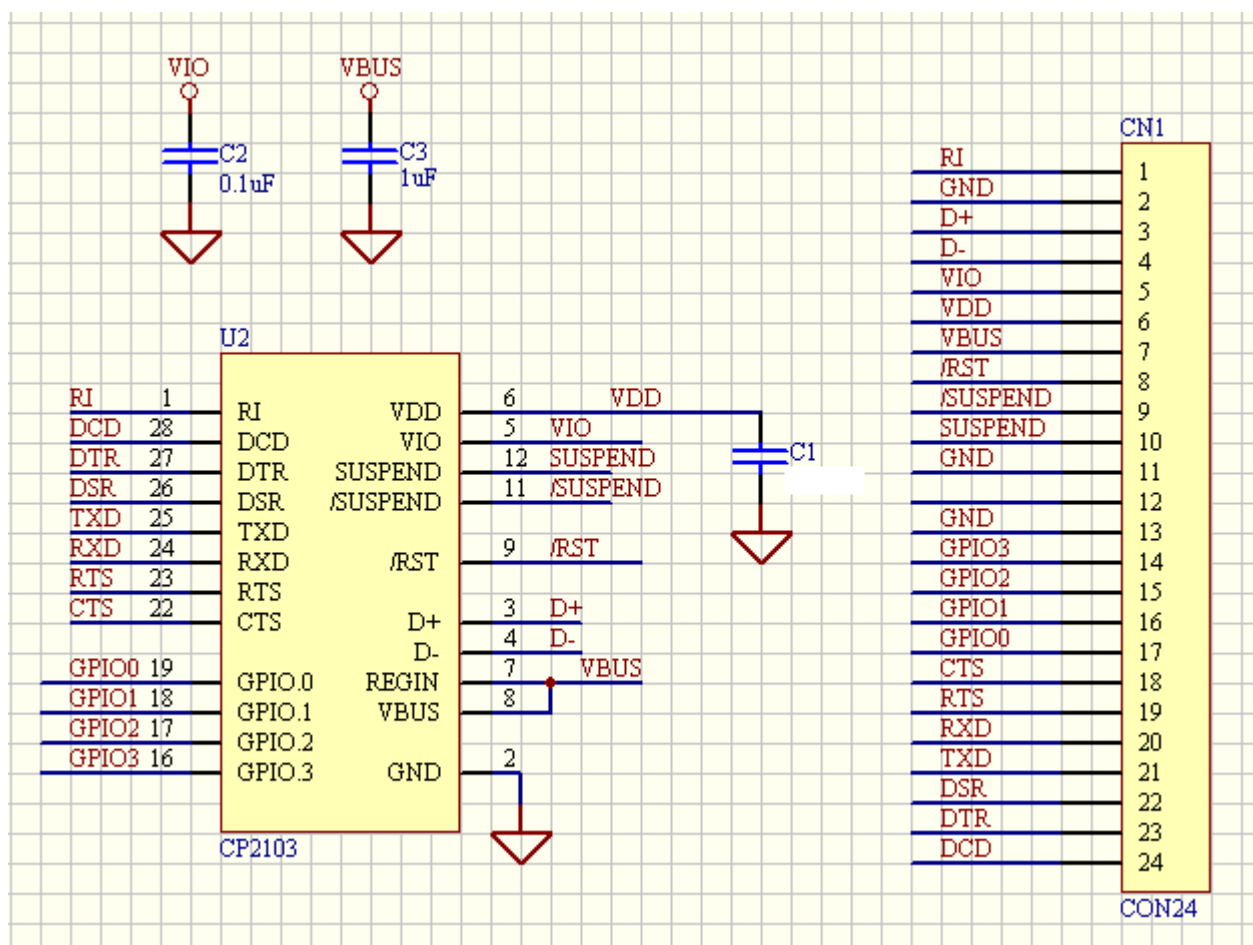
■シリコンラボラトリ(<http://www.silabs.com/>)のCP2103を使ったUSBシリアル変換基板です。使いやすいDIPパッケージに変換しています。74シリーズのロジック感覚でUSBを扱うことができるようになりました。

■ピン配置

端子説明	方向	ピン名称	ピン名称	方向	端子説明
被呼表示	→	RI	DCD	←	キャリア検出
グランド		GND	DTR	→	データ端末レディ
USB	↔	D+	DSR	←	データセットレディ
USB	↔	D-	TXD	→	送信データ
I/O 電源	→	VIO	RXD	←	受信データ
内部 3.3V 電源出力	←	VDD	RTS	→	送信要求
USB	→	VBUS	CTS	←	送信可能
リセット入力	→	/RST	GPIO0	↔	汎用 I/O(0)
サスペンド出力	←	/SUSPEND	GPIO1	↔	汎用 I/O(1)
サスペンド出力	←	SUSPEND	GPIO2	↔	汎用 I/O(2)
グランド		GND	GPIO3	↔	汎用 I/O(3)
未接続		N.C	GND		グランド



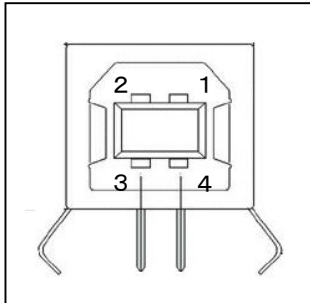
■配線図



■内容品

名称	数量	備考
CP2103 基板	1 枚	CP2103 及びコンデンサ実装済み
ピン端子	14 ピン分 ※右枠参照	ピンは一度曲がってしまうと簡単に折れてしまいます。 そのため基板のピン数である 24 ピンよりも少し多めに入っています。片側 12 ピンになるように余分な部分をカットしてお使いください。

■USBコネクタ（Bタイプ）のピン配置



FRONT VIEW

2. D-	1. VBUS
3. D+	4. GND

■とりあえず動かすには？

下記の通り配線してください。本製品にはUSB-Bコネクタは含まれておりません。

CP2103 基板			USB-Bコネクタ	
2	GND	⇔	4	GND
3	D+	⇔	3	D+
4	D-	⇔	2	D-
5	VIO	VIO と VDD を 接続してください。		
6	VDD			
7	VBUS	⇔	1	VBUS

パソコンに接続する前に、パソコンにCP2103のドライバをインストールしておく必要があります。CD-ROMのCP2103フォルダをご参照ください。パソコンにUSBケーブルで接続すると自動的に認識されます。画面にしたがってドライバをインストールしてください。

TxD、RxDやGPIOなどをターゲットに接続してお使いください。

■使用上の注意

- ・CP2103の7番と8番は基板内で接続されています。
- ・基板内でVIOはオープンになっています。使用の際は必ずVIOを接続してください。通常はVDDとVIOを接続して使います。VDDとVIOを接続することで3.3VがVIOに供給されます。
- ・1. 8V、2. 5Vなどより低電圧のCPUと接続する場合に限りVIOにそのI/O電圧を供給してください。

Copyright (c) 2005-2007 Strawberry Linux Co.,Ltd.

2005年7月5日 第1版

2007年3月29日 第2版